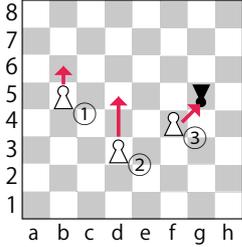
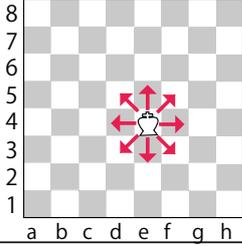
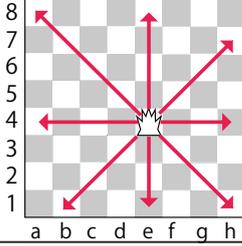
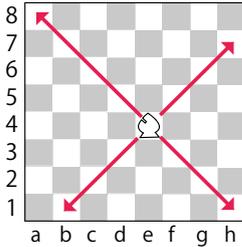
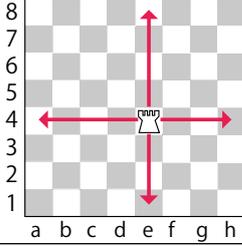


チェスの基本ルール

- ・片方が白版、片方が黒番となり、白番が先手で指します。
- ・駒は6種類（下記参照）。キング（将棋の「王将」にあたる）が取られそうな状況を「チェック」といいます。
- ・キングが逃がられない状況を「チェックメイト」といいます。将棋の「詰み」にあたり、相手をチェックメイトにしたほうが勝ちです。どちらかが勝ちになるか、両者の合意でドロー（引き分け）になればゲーム終了です。

チェスの駒の種類と動き方

駒の形	大盤での駒の形状		
		<p>ポーン</p> <p>将棋で言えば「歩」に近い駒。基本の動き方は、前に1マス進む（図の①）。最初に動くときだけ2マス進むことができる（図の②）。斜め前の駒をとることができる（図の③）。（「歩」とは異なり、目の駒は取れない。）敵側の8段目で到達すると、もっと強い駒に昇格（プロモーション）することができる（将棋の「成り」に近い）。たいていはクイーンに昇格するが、他の駒になることも可能。</p>	
		<p>キング</p> <p>将棋で言えば「王将」にあたる、一番大事な駒。縦横斜めに、1マスずつ移動できる。この駒が詰められると負け。</p>	
		<p>クイーン</p> <p>将棋で言えば「飛車」と「角」を合わせたような強力な駒。縦横斜めのいずれの方向にも、何マスでも進める。（ただし、味方や敵の駒を飛び越えて進むことはできない。）</p>	
		<p>ビショップ</p> <p>将棋で言えば、「角」にあたる駒。斜めの方向には何マスでも進める。（ただし、味方や敵の駒を飛び越えて進むことはできない。） 「ビショップ」という呼称は“僧正”を意味する。</p>	
		<p>ルーク</p> <p>将棋で言えば、「飛車」にあたる駒。縦横の方向には何マスでも進める。（ただし、味方や敵の駒を飛び越えて進むことはできない。） 「ルーク」という呼称は“塔、城”を意味する。</p>	
		<p>ナイト</p> <p>将棋で言えば「桂馬」に似た動きをするが、前方だけでなく横方向や後ろ方向にも動けるトリッキーな駒。 「ナイト」という呼称は“騎士”を意味する。</p>	